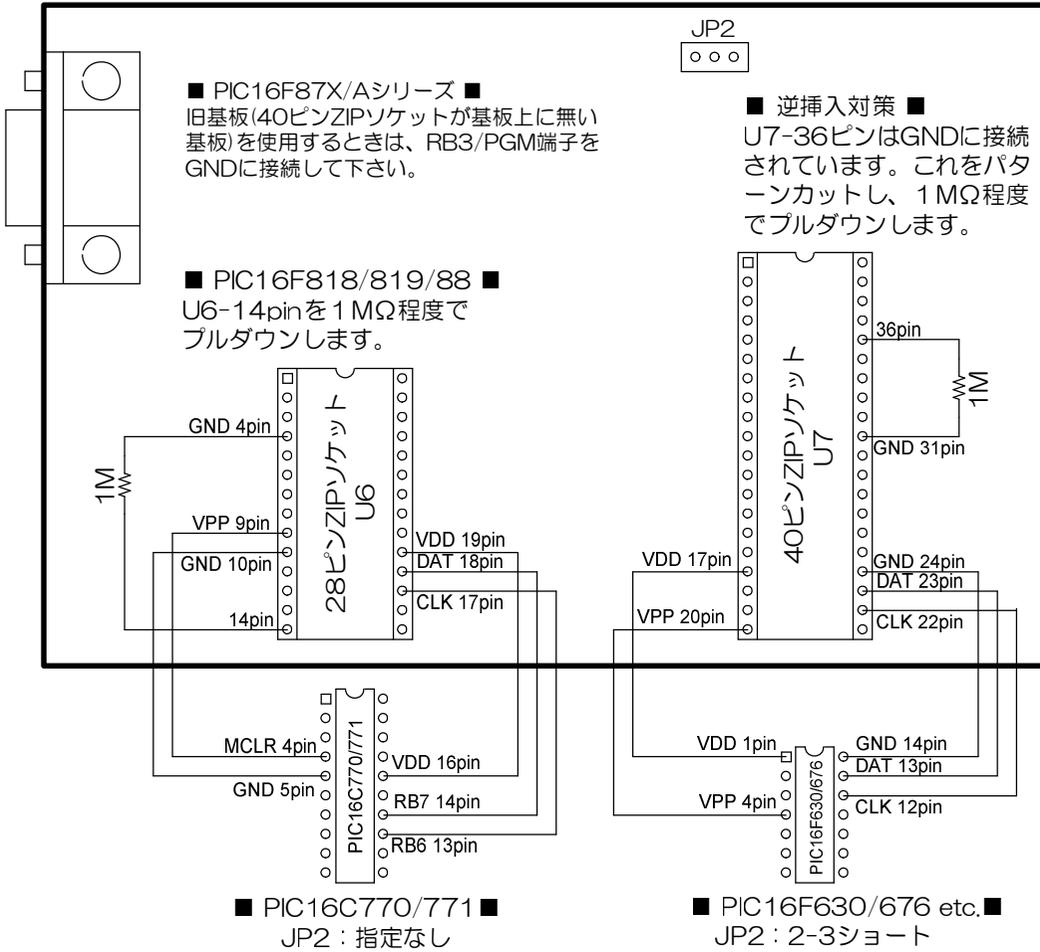


■ ボード修正回路図 ■

1. 40ピン、ZIPソケット逆挿入対策
2. PIC16C770/771、PIC16F630/676結線方法
3. PIC16F818/819/88対応の回路修正



■ キットが動作していないようだ ■

- ハンダ付けを再確認しましたか？
 - ・ お問い合わせの9割以上はハンダ付け不良です。
 - ・ もう一度、再ハンダ付けを行ってください。
 - ・ また、U4や、LEDの取り付け直しによるパターン切れが原因として多くあります。
- 15V以上のACアダプタを使用していますか？
- RS232ケーブルはストレートケーブルを使用していますか？
- マイコンの挿入位置は正しいですか？
(18ピンパッケージのマイコンは、28ピンゼロブレッシャーソケットに下側をそろえて挿入します。)
- ハンダ付け後、部品の余分なリード線のカットを忘れショートしていませんか？
(調査でお送り頂いた5割の方は、余分なリード線の処理が不十分でした。)

■ ソフトについて ■

- ソフトが正常に動作しない。
 - ・ ファームウェアバージョンVer6.50以降は、PC側ソフトVer6.5.x以上をお使いください。
 - ・ ファームウェアバージョンVer6.4.x以前と、PC側ソフトVer6.5.xとの組み合わせでは通信エラーが発生します。メニューバーのヘルプ⇒ファームウェアアップデートを実行しファームウェアをVer6.50以上にアップデートしてください。アップデートする時は最新のPC側ソフトを使用してください。

- Windows98SEでは、インストールでき正常に動作していたが、WindowsXPにインストールしようとする時Path or Files Not Findが表示されてインストールできない。
 - ・ ホームページからパソコン側ソフトの最新版を入手し、使用してみてください。
 - 入手先：<http://203.183.174.79/catalog/contents2/ver4support.aspx>
 - ・ WindowsXPのログインユーザ名に漢字、ひらがな、全角のカタカナが使用されているとインストールできない場合があります。半角アルファベット(例：administratorなど)のログインユーザ名でログインし、インストールを行ってください。

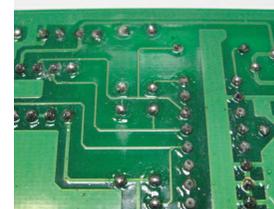
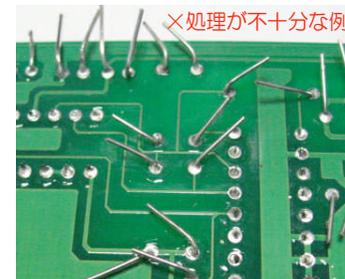
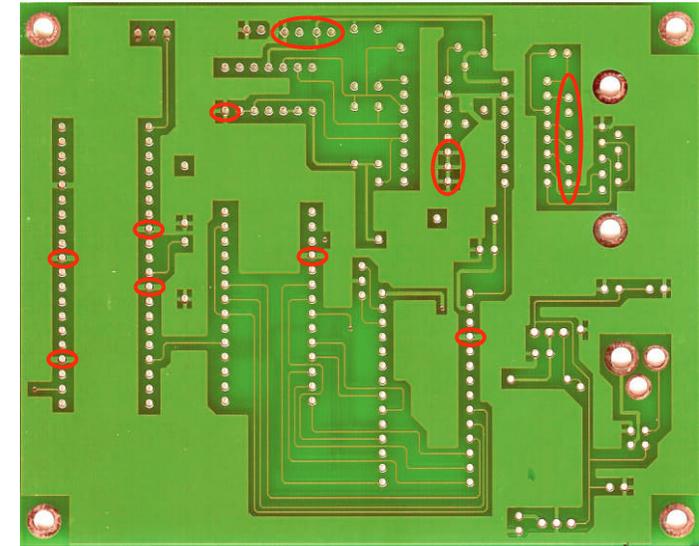
- AE-PGM877モジュールのアップデートに失敗し、PCとボードの通信ができなくなった。
 - ・ <https://203.183.174.79/catalog/contact/contact.aspx>まで住所を記載の上、ご連絡下さい。正常なモジュールをお送りいたします。返信用封筒を同封いたします、不良モジュールをご返却ください。
 - ・ もし、AE-PGM877モジュールを複数個お持ちで、1台が問題なく動作しているときは、以下の操作でアップデートに失敗したモジュールを復活させることができます。
 1. 問題のないAE-PGM877をプログラマーのU5にセットします。
 2. プログラマーの電源を入れ、AE-PGM877上のLEDが点滅することを確認します。
 3. アップデートに失敗したAE-PGM877をプログラマーのU6(28ピンZIPソケット)ソケットにセットします。(クリスタル部分が上側、QFPパッケージのマイコン側が下になるようにセット)
 4. picpgm6.exeを起動します。
 5. picpgm6.exeのデバイス選択で"AE-PGM877"または"AE-PGM877A"を選択します。
 6. 最新版ファームウェアのHEXファイルをロードします。
 7. プログラミングを行います。
 8. 以上の操作で、復活させることができます。

- 最新版にアップデートしても、サポートされているはずのマイコンが選択画面にあらわれません。
 - ・ 一度、picpgm6.exeをアンインストールしていただき、さらに、インストールフォルダを削除してください。(通常は、Program Files\PIC Programmerです。)
 - その後、最新版のpicpgm6.exeをインストールしてください。

■ ハンダ付け確認 ■

特に、以下の赤印の部分のハンダ付けを重点的にご確認ください。

LEDの極性ミスにより取り付け直しを行なったとき、パターンが切れてキットが正常に動作しないケースが多発しております。LEDの取り付け直しを行った時は、パターン切れを確認してください。



- 問題が解決されない場合 ■ 以下の内容を明記して問い合わせてください。
 1. 氏名・ご連絡先(電話番号)
 2. PC側ソフトのバージョン(ソフト起動後のウィンドウのタイトルバーの表示)
 3. ファームウェアバージョン(ソフト起動後のウィンドウの右下に表示)
 4. ご使用のマイコンの種類
 5. 複数のデバイスで確認したかどうか
 6. OSの種類
 7. 詳細な不具合の現象
(改造されたボードについては対応できませんの予めご了承ください。)